

天を裂いて降ってください

イザヤ 63 : 19、64 : 4

マルコ 13 : 33



司祭 ヨハネ 井田 泉

2020年11月29日

降臨節第1主日

彦根聖愛教会にて

降臨節に入りました。

前の聖卓にも説教壇にも、紫の布が掛けられています。紫は祈りの色、慎みの色、待望の色です。救い主イエス・キリストの降誕の日を、祈りをもって待ち望みましょう。

遠い昔、ある無名の預言者がこう祈りました。本日の旧約聖書の冒頭の言葉です。

「(主よ、) どうか、天を裂いて降^{くだ}ってください。」

イザヤ 63:19

これは、主イエスよりも数百年前、イスラエルの一人の預言者が人々の嘆きを自分の嘆きとして主に訴えた祈りです。

この時代、神の民イスラエルはバビロンによって踏みにじられ、次いでペルシアによって支配されて、久しく民族としての独立を奪われたまま過ごしていました。信仰の拠り所であった神殿はバビロンの軍隊によって破壊され、荒廃したままでした。周囲の勢力に圧迫され、生活は苦しく、人々は弱り果てていました。昔神が力を現して先祖たちを救い助けられたという民族の記憶はあっても、いま人々は神の業に触れることができないままです。

イザヤ書 63 章の少し前のところではこう言われています。

「どうか、天から見下ろし、輝かしく聖なる宮から御覧ください。どこにあるのですか。あなたの熱情と力強い御業は。あなたのたぎる思いと憐れみは 抑えられていて、わたしに示されません。……あなたの聖なる民が、継ぐべき土地を持ったのはわずかの間です。間もなく敵はあなたの聖所を踏み にじりました。あなたの統治を受けられなくなってから あなたの御名で呼ばれない者となってから、わたしたちは久しい時を過ごしています。」 イザヤ 63:15, 18-19

「どうか、天を裂いて降^{くだ}ってください。」 イザヤ 63:19

見上げれば天は閉ざされています。主よ、あなたは沈黙を守っておられます。わたしたちは地上にいて、あなたの救いも力も知ることができません。あなたはわたしたちを見捨てられたのですか。もしあなたがわたしたちの神であるなら、どうか天を裂いて降ってください。この地上にどうかあなたご自身を現してください。

人々の嘆きとうめきが一人の預言者のうちに燃えました。それは祈りとなって神の前に注ぎ出されました。同時に、その預言者の祈りが多くの人々の魂を揺さぶりました。こうしてこの

言葉は書き留められ、言い伝えられて、聖書の中に収められました。それがこの言葉です。

「どうか、天を裂いて降ってください。」

旧約聖書全体が救い主の到来を切望しています。天を裂いて神が来られるのを待っています。

このような嘆きと訴えを、神は無視されませんでした。人々が願った通りのことを、神は実行されました。人々が「天を裂いて降ってください」と訴えた通り、神は天を裂いて降られました。天から地上を御覧になるというだけではなくて、天からいくらか手を地上に差し伸べられるというだけではなくて、実際にご自身が天を裂いて降られました。それが、神の子イエス・キリストの降誕です。神の言わば分身、神の御子イエスが、天と地の間の無限の隔たりを乗り越えて、わたしたちのところに来てくださった。主イエスの誕生は、神が天を裂いてわたしたちのところに降ってこられた出来事です。

さらにそれは、人々が願った通り、というだけではありません。願った以上のことです。天を裂いて降られた神の子イエス・キリストは、人となってわたしたちの中に入り、わたしたちを引き受けてくださいました。わたしたちの悲惨を、わたし

たちの苦しみを、わたしたちの罪と闇と死を、ご自分のものとして引き受けて受け、十字架に死んでくださいました。それは、わたしたちをもう一度決定的に神の子とするためです。

あの預言者は続けてこう祈っています。

「あなたは憤られました

わたしたちが罪を犯したからです。

しかし、あなたの御業によって

わたしたちはとこしえに救われます。」 イザヤ 64:4

預言者は自分と人々の罪を知っています。当然のように神に救いを要求する資格があるとは思っていません。けれどもなお、**「あなたの御業によって、わたしたちはとこしえに救われます」**と信じて嘆願するのです。

「あなたの業」、神の救いの業を、クリスマスの出来事を、当たり前のようにしないでしましましょう。慣れてしまった記念行事にしないでしましましょう。イエス・キリストの降誕は、このわたしたちのために、このわたしのために必要だった。その必要なことを神は天を裂いて行い、さらに神の御子は十字架の上でご自身を裂いて実現してくださったのです。

この過去の出来事に支えられて、わたしたちは前方を見ます。わたしたちの将来——イエス・キリストの二度目の到来、再び天を裂いて来られる日に目を向けて、姿勢を正します。希望をもって前方を見つめ、隣人に対して善いことをしながらその日に備えます。

「気をつけて、目を覚ましていなさい。」 マルコ 13:33

目を覚まして待つわたしたちに、完全な救いと平和と喜びが約束されています。

祈りましょう。

神さま、人々の祈りにあなたは答えてくださいました。御子イエスは天を裂いて降られました。天を裂いてわたしたちのところに来られたイエスが、わたしたちを引き受けていてくださることを教えてください。クリスマスの出来事の意味を新しく悟らせてください。主がふたたび天を裂いて、この世界を愛と正義と平和の充満する神の国とするためにおいでになることを信じます。その備えをするわたしたちにしてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン